

中高科へのヒント 1~3月

1/6

●話し合ってみよう

1. エルサレムのユダヤ人たちが、祭司やレビ人たちを遣わしたのは、何のためだったか。→ メシヤかどうかを確かめるため。
2. ヨハネは「キリストではない」と答えた。「それではどなたですか」と尋ねた祭司たちにヨハネは何と答えたか。→ 「荒野で呼ばれる者の声」。
3. さらに祭司たちは、ヨハネに「なぜ、バプテスマを受けるのですか」と尋ねたが、この質問の意図は何であったと思うか。→ そのバプテスマを受ける権威は、誰から与えられたのか。

●考えてみよう

1. ヨハネの「主の道をまっすぐにせよ」とは、どういう意味か。→ 救い主を信じる心を整える。
2. ヨハネの偉大さはどこに表わされているか。→ 自分の限界を熟知し、役割をわきまえていたこと。
3. バプテスマのヨハネとは何者であったのか。→ 「あなたがたの中に立っておられる」とある「中に立つ」方を示す者であった。
4. イエスに対して「くつのひもを解く値うちもない」とヨハネは言った。ここにヨハネのどんな自覚があるか。→ キリストの僕であること。

●自分に当てはめよう

1. ヨハネは、自分を声に過ぎないと告白していた。自分が忘れられても、イエスが残ることを第一としていた。私たちの場合はどうか。私たちも「中に立つ」方を示す者でありたい。

1/13

●話し合ってみよう

1. ヨハネはイエスを2度も知らなかったと言っている(31、33節)。これはどういう意味か。→ メシヤがイエスであることを知らなかったということ。
2. ヨハネはイエスを「世の罪を取り除く神の小羊」と紹介した。この場合の小羊とはどのようなものか。→ 旧約時代に罪の身代わりに犠牲として神に捧げられた動物のこと。
3. どのようにしてヨハネはイエスがメシヤであることがわかったのか。→ 御霊が鳩のように天から下って、イエスの上にとどまるのを見たから。

●考えてみよう

1. イエスはどのような働きをする人としてヨハネは紹介したか。→ 御霊によってバプテスマを受ける方。
2. ヨハネはイエスを「わたしよりも先におられたからである」と紹介した。どういう意味か。→ 神として先在しておられた方であるということ。
3. 御霊のバプテスマとは何か。→ 聖霊として常に私たちと共におられる主を信じ、主の内に浸されていること。

●自分に当てはめよう

1. ヨハネは自分のことよりも、徹底してイエスのメシヤであることをあかしした人であった。私たちはどうだろうか。

1/20

●話し合ってみよう

1. 罪のないイエスが洗礼を受けられたのはなぜか。→ 私たち罪人と等しくなるため。イエスを信じて従う者は、洗礼を受けて教会に加わるように。
2. 聖霊はイエスにのぞまれた。主イエスがどのようにしていたときか。→ 洗礼を受けて祈っていたとき。
3. 聖霊はどのような姿で下ってこられたか。→ 鳩のような姿で。
4. なぜ聖霊はそのような姿で下ったのか。→ 創世記8章では、ノアの洪水の後で、鳩がオリーブの葉をくわえて箱舟に戻ってきた記述がある。鳩は柔和、平和を表わしていると考えられる。

●考えてみよう

1. 天から「あなたは、わたしの愛する子」という声がした。これは何を意味しているか。→ これはイエスが「神の子」であることを明確に証言するものである。

●自分に当てはめよう

1. イエスは、父なる神から「あなたは愛する子」と言われている。それでは、イエスを信じて従って行く者を神は何と呼ぶだろうか。→ 主は、私の罪からの救い主としてイエスを信じ、従い、洗礼を受けた者を、「愛する子」と呼んでくださる。私たちがイエスを救い主と信じているなら、その信仰を公にするためにも洗礼を受けよう。

1/27

●話し合ってみよう

1. イエスは御霊によって、荒野に導かれた。なぜそのように御霊は導かれたのか。→ 悪魔との戦いに勝利するため。
2. イエスは40日40夜の断食をして、悪魔の誘惑にあわれた。このときのイエスの状態はどうであっただろうか。→ 当然空腹になっておられた。

●考えてみよう

1. イエスは悪魔は石をパンに変えるように誘惑した。どのような意味があるか。→ 飢えている人にパンを与えることは大事だが、肉体的、経済的救いは一時的な満足をもたらすのみで、永遠の救いには至らない。
2. 悪魔は神殿の上から飛び降りろと誘惑した。これはどういう意味があるか。→ 奇跡を見せることで、救い主と認めてもらうこと。これは本当の救いにはならない。
3. 悪魔は自分を拝めと誘惑した。これはどういう意味があるか。→ たとえ、この世のすべてを手に入れても、永遠の命をもたなければ滅びる。

●自分に当てはめよう

1. 私たちは何に信頼を置いているだろうか。パンか。権力か。奇跡か。
2. イエスは、み言葉に従うことの大切さを語っておられる。私たちは、体験や、奇跡や、物質的な何かではなく、聖書のみ言葉に聞く者とさせていただきたい。

2/3

●話し合ってみよう

1. 婚礼の場でぶどう酒がなくなるということはどういうことを意味したか。→ 主催者である花嫁の家族にとって不名誉になることだった。
2. マリヤはぶどう酒がなくなったことをイエスに伝えた。なぜか。→ イエスが解決してくれるとの期待があったと思われる。

●考えてみよう

1. イエスは「わたしの時はまだ来ていない」と言われた。「わたしの時」とはどんな時か。→ 十字架にかかれるとき。
2. マリヤの申し出に対するイエスの答えは冷たいと思えた。なぜイエスはこのような答えをなさったのか。→ 救い主としての業をするときではないと答えられたのだ。
3. この答えを聞いたマリヤのとした態度はどうであったか。→ この方の言われるとおりにしてくださいと言った。
4. 実際に僕たちはそのとおりにしたか。→ 言われたとおりにした。
5. イエスの奇跡を知ることのできた人とはどのような人であったか。→ 実際に水を汲んだ僕たち。

●自分に当てはめよう

1. 水をぶどう酒に変えられた奇跡と私たちの関係は。→ 私たちは聖餐式でぶどう汁を飲む。これが罪の赦しと救いの喜びを味わう時である。

2/10

●話し合ってみよう

1. イエスが最初弟子として招いた人は、どんな人たちであったか。→ 漁師であった。
2. 彼らは何をしているときに、主に弟子として召されたか。→ ペテロとアンデレは、海に網を打っているとき。ヤコブとヨハネは舟で網を繕っているとき。
3. イエスは「あなたがたを人間をとる漁師にしてあげよう」と言われた。これはどういうことか。→ 人々をイエスの救いに導く働きのこと。

●考えてみよう

1. イエスが弟子たちを招いたことで、何を知るか。→ 神の業は神に従う人を用いてなされていくということ。
2. 彼らは、すぐに従ったか。あるいは後から従ったか。→ すぐに従った。
3. 彼らはどのように従ったか。→ ペテロとアンデレは、網を棄てて従った。ヤコブとヨハネは舟と父とを置いて従った。
4. これは何を意味するか。→ 大きな犠牲を払って従ったということ。彼らは、家も職業も捨てて従った。

●自分に当てはめよう

1. イエスがあなたに「わたしに従って来なさい」と言われたら何と答えるか。
2. ペテロとヨハネは、大きな犠牲を払ったが、何もそればかりが従うことではない。どのような従い方があるか。→ 自分の今いるところで。

2/17

●話し合ってみよう

1. 山上の説教として知られる個所であるが、どこでイエスはこの教えを語られたか。→ 山の上で。
2. この場所で語られたということは何を意味するか。→ ホレブの山で律法を授かったモーセを連想させる。
3. 私たちが普段幸いと思えることは何があるだろうか。→ お金がある。健康。成績優秀等々。
4. イエスの語られた幸いとは何か。→ 神との関係における幸い。

●考えてみよう

1. イエスは神の国を受け継ぐ資格を語られた。それは何か。→ 心の貧しさ。神の恵みなしに生きられない心であること。
2. 悲しんでいる人は幸いと言われるが、この場合の悲しみとは何だろうか。→ 自分の罪を悲しむこと。
3. 平和をつくる者の幸いが語られている。この場合の平和とは何か。→ 罪ある者が、イエスの十字架の贖いによって神と和解し、魂に救いをいただいていること。

●自分に当てはめよう

1. あなたは心の貧しさを感じたことがあるか。
2. 神の祝福を得たいと思っているか。
3. 柔和な者の幸いが語られているが、この反対は「力づくで生きる」ということだ。あなたの生き方はどちらだと思うか。

2/24

●話し合ってみよう

1. イエスは、すぐに群衆を解散させた。なぜか。→ 人々がイエスを政治的な指導者として立てようとしたため。
2. 強いて弟子たちを舟に乗り込ませた意図は何か。→ 弟子たちも群衆と同じようにならないため。
3. イエスは祈るために山に登られた。何のための祈りであったと思うか。→ 父なる神のみ心を求めてのこと。
4. 弟子たちの乗った舟が逆風にあっていて。これは何を意味すると思うか。→ 信仰者の歩み、教会の歩みにも荒波があるということ。

●考えてみよう

1. イエスが水の上を歩かれたことはどんな意味があるか。→ 自然を制御される神である方。
2. 海の上を歩かれるイエスを見て、弟子たちは最初どう思ったか。→ 幽霊だと思った。
3. 「しっかりするのだ、わたしである」とのイエスの声を聞いた弟子たちはどう思っただろうか。→ 不安が消え、勇気がわいてきた。
4. ペテロは、海を歩かせてくださいと言ったが、どのような気持ちか。→ 少しでもイエスに近づきたかったため。

●自分に当てはめよう

1. 波を見て沈んだペテロの姿に、自らの姿が重ならないだろうか。彼の姿には、イエスへの不信仰を起こす人間の姿がある。主を見上げよう。

3/2

●話し合ってみよう

1. ザアカイがイエスに会いたかったのは、どのような理由からと考えられるか。→ このまま不正をし、神に背く生き方はいけないという気持ちがあったかも知れない。
2. 群衆に阻まれ、イエスに会えずにいたザアカイであったが、なぜ群衆はザアカイを阻んだのか。→ 彼は収税人であり、人々に嫌われていたため。
3. ザアカイがイエスに会うためにした行動とは何であったか。→ いちじく桑の木に登ったこと。

●考えてみよう

1. イエスはザアカイの名を呼ばれた。このことから何が分かるか。→ 私たち一人一人の名を呼んで招いておられる。
2. イエスは「あなたの家に泊まることにしている」と言われた。これはどういう意味か。→ 私たちの心に入られるということ。
3. ザアカイはイエスに会って、4倍にして返しますと言っている。このことから何が分かるか。→ それまで、税を不正に取り立てていた。それを返すことで、悔い改めを表わしている。

●自分に当てはめよう

1. ザアカイには、罪の呵責^{かしやく}と劣等感があったと考えられる。私たちはどうか。
2. ザアカイは悔い改めて、イエスに受け入れられている感謝の実を結んだ。私たちに結べる実は何か。

3/9

●話し合ってみよう

1. 「いつものように、…いつものところで」これは何を意味するか。→ イエスの神との交わり、普段の祈りの大切さ。
2. 「石を投げてとどくほど離れた」とは、何を意味しているか。→ イエスは、弟子たちから少し離れて、孤独の祈りをしておられること。
2. イエスが祈っている間、弟子たちは寝入っていた。なぜか。→ 肉体的疲れのため。
3. 「イエスは誘惑に陥らないように」と言われた。この場合の誘惑とは何か。→ 主に従えなくさせるもの。肉体の弱さ。

●考えてみよう

1. この場合の杯とは何か。→ 十字架の苦しみ。
2. 杯を取り去るとはどういうことか。→ 十字架にかかって人類の罪の苦しみを味わわなくてもすむように。
3. なぜイエスはこのように祈られたのか。→ 父なる神との交わりが断たれることの恐れ。
4. 祈りを終えて立ち上がったイエスから何が分かるか。→ 祈りによる勝利。

●自分に当てはめよう

1. イエスは、心の奥底からありのままの願いを祈りとして父なる神にささげた。私たちはどのような祈りを神にささげているだろうか。うわべだけ、形だけで祈るということはなかったか。この聖書箇所から、心にあるありのままを祈ることを学び、身につけよう。

3/16

●話し合ってみよう

1. 十字架刑とは、当時どのように見られていた処刑方法であったか。→ ローマ帝国が重罪人に対して行なった最も忌まわしい屈辱的な処刑方法であった。
2. イエスが十字架にかかれたとき、ののしりと、あざけりに遭ったが、^{だれ}誰がイエスにそのようにしたのか。→ 人々、役人、兵士たち。
3. イエスがあざけられたとはどういうことか。→ 誰からも尊敬されなかったということ。
4. 人々のあざけりの言葉とは具体的にどのような言葉だったか。→ 「他人は救ったが、自分は救えない」。
5. イエスに対する数々の侮辱に対して、イエスはどのように対応されたか。→ 侮辱に対して侮辱で答えず、かえって執り成しの祈りをされた。

●考えてみよう

1. イエスは十字架から降りることは簡単にできたことであった。しかし、それをしなかったのはなぜか。→ 十字架の贖い^{あがな}以外に罪人の救いはないから。
2. イエスは「彼らをおゆる^{ゆる}してください」と祈られた。この祈りの中に含まれる人とは誰か。→ 神に罪を犯しているすべての人。

●自分に当てはめよう

1. 「彼らをお赦^{ゆる}してください」と祈られたイエスの祈りの中に、あなたは含まれているだろうか。

3/23

●話し合ってみよう

1. マグダラのマリヤ、ほかのマリヤが、イエスの葬られた墓に来たのはなぜか。→ イエスの死体に準備しておいた香料を塗るためであった。
2. 彼女たちが墓に行ってみると、何が起ったか。→ 御使^{よみ}いたちがイエスの墓の石をころがした。

●考えてみよう

1. 御使^{よみ}いが女たちに語ったことは何だったか。→ イエスの復活、このことを弟子たちに伝えよといった。
2. 墓の見張りの人の様子はどうかであったか。→ 恐ろしさのあまり震え上がった。
3. 復活されたイエスは、多くの人たちにご自身を現された。それは何のためか。→ ご自分が本当に死人の中から甦^{よみがえ}られたことを信じさせるため。
4. イエスの葬られた墓の中はどうなっていただろうか。→ イエスのお体はなく、イエスの体を巻いた亜麻布と頭に巻いた布とが、そのままの状態で見捨てられていた。
5. 復活されたイエスは弟子たちに「ガリラヤへ行け」と言われた。これは何を意味するか。→ 主に召されたときの原点に帰って、福音宣教に遣わされるように。

●自分に当てはめよう

1. あなたや私のために、十字架にかけられ死なれたイエスは、私たちの罪と死を滅ぼして復活してくださった。この方を信じていこう。

3/30

●話し合ってみよう

1. イースターの朝、弟子たちは恐れて家の戸を全部閉めていた。何を恐れていたのだろうか。→ 自分たちもイエスと同じように捕まって殺されるのではないかという恐れ。
2. イエスは手とわきを、弟子たちにお見せになった。なぜか。→ 私たちの罪の贖い^{あがな}のために十字架にかけられ、死んでよみがえったことを明らかにするため。
3. イエスは一つの使命を弟子たちに与えられた。この使命とはどのようなことか。→ 「父がわたしをおつかわしになったように、わたしもまたあなたがをつかわす」と主は言われた。これは宣教に遣わすということ。

●考えてみよう

1. イエスは聖霊を受けよと言われた。このことが弟子たちに実際に起ったのはいつか。→ ペンテコステ（聖霊降臨日）。
2. イエスが弟子たちに息を吹きかけたことはどのようなことを意味しているか。→ 最初の人アダムが造られたときに、神に息を吹き込まれて人となったように、新しい人として造られることを意味する。

●自分に当てはめよう

1. 私たちは心に鍵^{かぎ}をしたまま、イエスを心の部屋の外においたままにしていないだろうか。→ もしそうなら、今心の扉を開いてイエスを主として心に迎え入れよう。